

大声援を力に熱戦



青少年健全育成 ミニサッカー大会



第34回青少年健全育成ミニサッカー大会は6月25日、町総合運動公園多目的グラウンドで開催され、町内の小学生が高学年、低学年、女子の3つの部門24チームに分かれ参加し、熱戦を繰り広げました。

開会式では、土谷佳大さん（小屋瀬小5年）が選手宣誓。鈴木町長は「スポーツを通じながら健康な心と体を作ってほしい。楽しんで、頑張ってください」と選手を励ました。

グラウンドのあちろちから声援が飛び交う中、低学年決勝では2対2の同点。PK戦にもつれ込み、会場中の注目を浴びました。その激戦を制した五小ハリケーンのカプテン・木村林太郎さん（五日市小3年）は「優勝できてうれしい。MVPはびっくりしました」と、はにかんだ笑顔を見せました。

高学年 優勝 北部茶屋場ミラノ



（左から）見澤陽翔さん、MVP 上打田内大篤さん、星野怜桜さん、松下尚憲さん、向川原大和さん、上川原匠哉さん、星野智哉さん、岩澤玲王さん、見澤莉玖さん

■準優勝 田子田代FC
■第3位 五小イーグルス・五小ファイターズ

低学年 優勝 五小ハリケーン



（左から）栗村幸聖さん、栗畑瑛太さん、山岸梨来さん、山村蓮さん、MVP 木村林太郎さん、木村かえでさん、加賀谷灯真さん、栗村龍二さん、木下榎乃さん

■準優勝 ベガルタ浦子内 Jr
■第3位 ガンバ茶屋場 / 17・田子田代FC / 17①

女子 優勝 ガンバ茶屋場ガールズ



（左から）近藤彩愛さん、柳岡柚葉さん、山村華杏さん、榎木茉莉亜さん、折本莉奈さん、MVP 嵯峨菜央さん、遠藤圭心さん、三好莉乃さん

■準優勝 江川ソニック7
■第3位 北部レディース



文部科学大臣表彰

小屋瀬中の野生生物の保護活動

小屋瀬中学校（佐久山明彦校長・生徒17人）は5月14日、静岡県熱海市で開催された全国野鳥保護のつどいの席上で、2017年度の野生生物保護功労者表彰（環境省、日本鳥類保護連盟など主催）で文部科学大臣賞を受賞しました。



町長室で受賞報告を行う小屋瀬中の代表生徒ら

6月8日、同校の代表生徒らが町長室を訪れ、受賞の報告とこれまで行ってきた地域の希少植物や生物調査の取り組み内容



について説明しました。同校は、1997年にモリアオガエルを発見したことをきっかけに学区内の野生生物についての調査を開始。現在はモリアオガエルやサクラソウ、カワシンジュガイの調査と環境ボランティア活動を行っています。

小屋瀬中学校での野生生物保護の取り組み（5月31日の活動内容）

1

モリアオガエルの生息調査と環境整備

目的

木の枝に産卵するモリアオガエルのために植樹して環境を整える



前回の調査内容と比較をしながら、モリアオガエルの生息を調査



木の枝に産卵をするモリアオガエルのため、植樹するネコヤナギを運ぶ



運んできたネコヤナギを協力しながら植樹し産卵しやすい環境を整える

2

サクラソウの環境整備と避難移植

目的

環境省の特定外来生物に指定されているオオハングソウの駆除



サクラソウを避難移植するための場所の整備とオオハングソウの駆除



サクラソウを整地した安全な場所に運び丁寧に移植し、たっぷりの水をやる



サクラソウを増やすために花弁の特徴を考えながら人工授粉に挑戦

3

カワシンジュガイの生息と水質調査

目的

カワシンジュガイが住める川か水生生物の調査により水の汚染状況を確認



網や水メガネなどを使い、川の中のカワシンジュガイなどを調査



水の汚染状況を確認するため石を裏返して、水生生物の生息を調査



調査した結果を持ち寄り内容をまとめた結果、きれいな水に住む水生生物が多いと確認